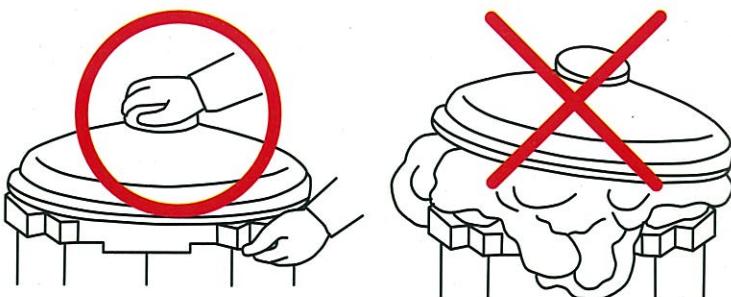


容器に入れて出す

ポリバケツなどの容器に入れて出せば、より確実にカラスとゴミの接触を防げます。

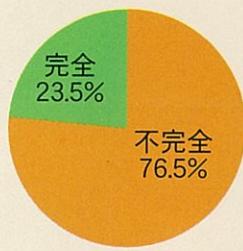
容器の上に蓋を置いたくらいでは、カラスは簡単にあけてしまいます。蓋をしっかり閉めましょう。



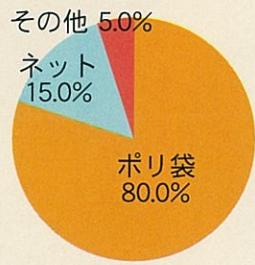
ゴミ集積所を工夫する

蓋のついた集積ボックスや、建物内にゴミの集積所を設けるなどの工夫をしましょう。

カラスに対する
ゴミの管理状況

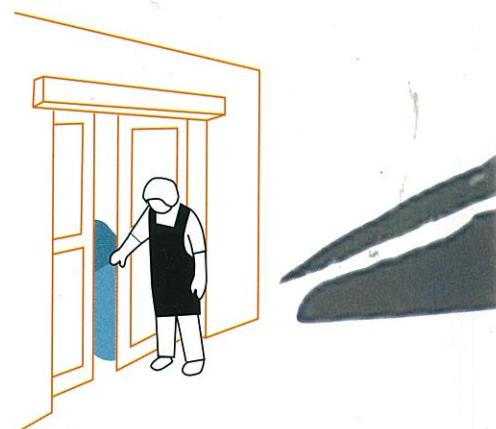
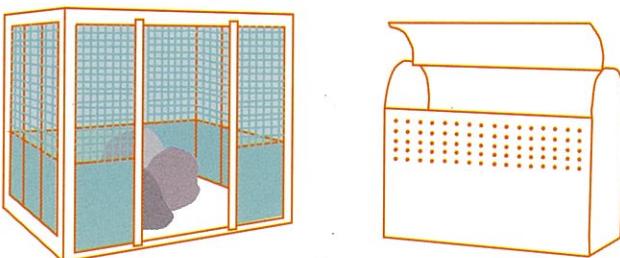


カラスによる
ゴミの食い散らかし状況



(東京都内175カ所)

出典:日本野鳥の会研究センター・東京支部・奥多摩支部



防除器具を使う

カラスの習性などに着目した様々な防除器具があります。ただし、カラスはすぐ慣れてしまう可能性が大きいので、いろいろな防除方法を試してみるのもいいでしょう。



地域ぐるみで協力する

一部地域で対策を行っても、他の地域で行わなければそこでカラスの被害が発生し、結果的に被害が移動しただけになってしまいます。これでは解決になりません。被害を減らすためには地域で協力しあうことが大切です。



行動に注意する

過度に巣に近づくと威かく・攻撃されるおそれがあります。

カラスの繁殖活動

3～4月頃、公園の高木、街路樹、電柱などに巣をつくります。この時期に2羽で行動していたり、枝などの巣材を運んでいる場合は、繁殖活動に入っていると考えられます。

カラスが「カッカッ」と激しく鳴くのは、威かく行動なので、その場から遠ざかりましょう。その場に居続けると、攻撃する可能性があります。通常は頭の上をかすめて飛ぶだけですが、時には直接頭をねらって攻撃されることもあります。どうしても巣の近くを通らなければならない場合は、帽子をかぶったり、傘をさせば、被害を少なくすることができます。また執拗に攻撃される場合は、貼り紙などで通る人に注意を喚起するのも良いでしょう。

威かく・攻撃が多発する場合

毎年被害が多発する場所では、カラスの行動に注意しましょう。激しい威かく・攻撃が繰り返される場合は、巣を撤去することも検討しましょう。



きゅうじ

給餌をやめる



公園などでドバトやカモ類などに餌を与える光景は、よく見られます。近年、これらの鳥に混ざって餌を食べているカラスが目立つようになりました。さらに、カラスそのものに餌を与える人も増えています。

給餌をすることで、カラスは人が食べ物をくれるものだと思い、人を恐れなくなります。ゴミを荒らしているカラスを追い払おうとしても、逃げなくなったりなどという例もあります。また、いくらゴミを管理しても、給餌を増やせば、食物が増え、意味のないものになります。

カラスは、絶滅の恐れがあるため給餌などで保護されている野生動物とは違い、普通に自然の中で生きていくことができます。また、天敵がない都会のカラスは、給餌をすることで個体数が増え、人に被害をもたらします。人と野生動物の関係は一定の距離を保つことが必要です。カラスへの給餌はやめましょう。



カラスの巣





巢を撤去
するには...

カラスを含む野生鳥獣は、「鳥獣保護及狩猟二関スル法律」という法律により、原則として捕獲（卵の採取を含む）が禁止されています。捕獲等のためには所定の手続きが必要です。

巣の撤去は、営巣している場所の管理者が行うのが普通です。まず管理者に相談しましょう。産卵前の巣は自由に撤去できますが、産卵以後は卵の採取やヒナの捕獲の許可申請が必要となります。巣の中で親鳥が卵やヒナを抱いていないか確認して下さい。捕獲が必要な場合には最寄りの自治体に相談しましょう。また、巣を撤去する時は、親鳥に激しく攻撃されるので注意して下さい。

都道府県・市町村の担当連絡先

編集・発行

環境庁自然保護局：〒100-8975 東京都千代田区霞ヶ関1丁目2-2

(財) 日本鳥類保護連盟：〒166-0012 東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3F

(財) 日本野鳥の会：〒151-0061 東京都渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F

発行日 2000年3月 イラスト(表紙・ハシブトガラス・ハシボソガラス) 薮内正幸



このパンフレットはエコマーク認定の古紙
配合率100%再生紙を使用しています。